

## 下水道事業会計

### 1 事業の実績

#### (1) 業務概括

本年度は、南部浄化センターの電気設備更新工事が完了したほか、未普及地域における汚水管渠布設事業や中央・南部浄化センター及び長門石・櫛原・小森野中継ポンプ場の耐震補強工事が行われた。また、市街地の浸水被害の軽減を図るために、東櫛原地区の雨水貯留施設や雨水管渠の整備が実施された。

施設及び業務実績は、次表のとおりである。

区 分	平成 28 年度	平成 27 年度	増減数	増減率(%)
行政区域内人口 (人) A	306,211	305,993	218	0.1
処理区域内人口 (人) B	242,049	237,699	4,350	1.8
水洗化済人口 (人) C	219,044	215,146	3,898	1.8
普及率 (%) B/A	79.0	77.7	1.3	
水洗化率 (%) C/B	90.5	90.5	0.0	
全体計画面積 (ha) D	6,480	6,480	0	0
処理区域面積 (ha) E	4,941	4,813	128	2.7
面積普及率 (%) E/D	76.3	74.3	2.0	
管渠総延長 (km)	1,225	1,190	35	2.9
職員数 (人)	52	53	△1	△1.9
※()内は短時間勤務職員数で外数	(1)	(0)	(1)	
現有処理能力 (m <sup>3</sup> /日) F	103,900	103,900	0	0
平均処理水量 (m <sup>3</sup> /日) G	70,619	64,487	6,132	9.5
現在最大処理水量 (m <sup>3</sup> /日)	94,476	80,838	13,638	16.9
施設利用率 (%) G/F	68.0	62.1	5.9	

#### (2) 処理人口及び普及率等の主な増減の内容

処理区域内人口は、毎年度増加を続け、本年度も前年度に比べて増加して、4,350 人 (1.8%) の伸びとなっている。

処理区域面積は、市全体の計画面積 6,480ha に対して 4,941ha で、前年度より 128ha (2.7%) 増加している。

普及率は、処理区域内人口の増加により、前年度より 1.3 ポイント増加して 79.0%、処理区域面積普及率は、前年度より 2.0 ポイント増加して 76.3%である。

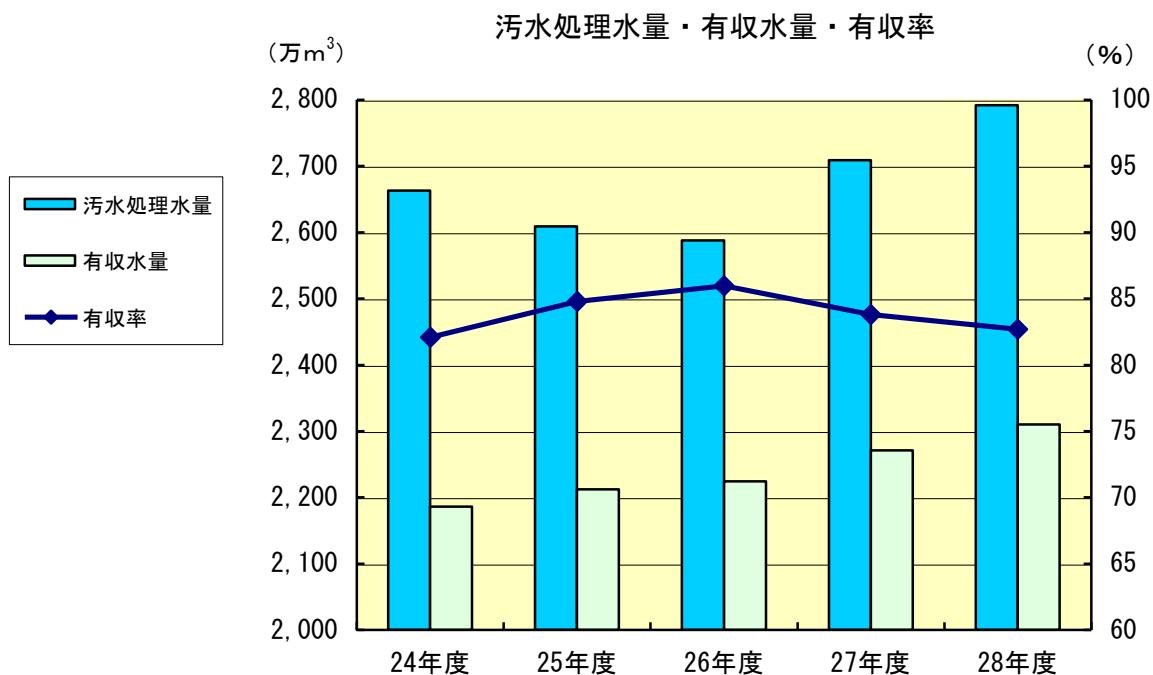
管渠総延長は、前年度に比べ 35km (2.9%) 増加して 1,225km となっている。

施設利用率は、施設の持つ処理能力がどの程度利用されているかを示すものである。本年度は、南部・田主丸浄化センターへの接続が増加したことによる流入水量の増などによって、前年度から 5.9 ポイント増加して 68.0%となっている。

### (3) 汚水処理水量、有収水量及び有収率の主な増減の内容

汚水処理水量は、前年度と比較すると、829,666 m<sup>3</sup>の増となっている。有収水量も前年度より388,688 m<sup>3</sup>増加しているが、有収率は、1.1ポイント減の82.7%となっている。

なお、年間汚水処理水量、有収水量及び有収率の推移は、次表のとおりである。



(単位：m<sup>3</sup>・%)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
汚水処理水量 A	26,631,557	26,091,479	25,876,031	27,086,923	27,916,589
有収水量 B	21,861,529	22,122,858	22,244,821	22,711,492	23,100,180
無収水量	4,770,028	3,968,621	3,631,210	4,375,431	4,816,409
有 収 率 B/A	82.1	84.8	86.0	83.8	82.7